



2021 年 4 月 20 日

株式会社セブン - イレブン・ジャパン

アスラテック株式会社

ソフトバンク株式会社

自律走行型配送ロボット「RICE」で セブン-イレブンの商品を屋内で配送する実証実験

「RICE」とエレベーターの連携により、複数フロアへの配送が可能に

株式会社セブン - イレブン・ジャパン（代表取締役社長：永松 文彦、以下「セブン - イレブン」）、アスラテック株式会社（代表取締役社長：酒谷 正人、以下「アスラテック」）およびソフトバンク株式会社（代表取締役 社長執行役員 兼 CEO：宮川 潤一、以下「ソフトバンク」）は、三菱電機株式会社（以下「三菱電機」）と東急不動産株式会社（以下「東急不動産」）の協力のもと、ソフトバンクの本社が入居する「東京ポートシティ竹芝オフィスタワー」（東京都港区）において、自律走行型配送ロボット「RICE（ライス）」を使用してセブン - イレブンの商品を配送する実証実験を、2021 年 4 月 21 日（水）から本格的に開始します。

セブン - イレブン、アスラテックおよびソフトバンクの 3 社は、ソフトバンクの社員が「セブン - イレブンネットコンビニ」※で注文した商品を、「RICE」で東京ポートシティ竹芝オフィスタワー内のセブン - イレブン店舗から同じフロアの指定された場所まで配送する実証実験を、1 月 18 日（月）から試験的に行っております。今回、「RICE」とエレベーターを連携させて、他のフロアへの配送を開始します。

セブン - イレブンは、さらに便利なサービスをお客様に提供するために、実証実験を通して商品のさまざまな配送方法の可能性を検討し、ラストワンマイルの取り組みを推進します。アスラテックは、多様な業種や施設での「RICE」の導入に向けて、「RICE」のユースケースづくりに取り組みます。ソフトバンクは東急不動産とともに、竹芝エリアにおいて最先端のテクノロジーを街全体で活用するスマートシティのモデルケースの構築に取り組んでおり、その一環として今回の実証実験に参画します。

※セブン - イレブンの商品をスマートフォンで注文し、指定した場所で受け取れるサービス。

<「RICE」による配送イメージ>



<実証実験の概要>

■期間：2021年4月21日（水）～6月30日（水）

※東京ポートシティ竹芝オフィスタワー内のセブン-イレブン店舗と同じフロアへ商品を配送する実証実験は、1月18日（月）から実施中。

■内容：より便利なサービスの実現と、ラストワンマイルの取り組みの推進に向けて、新たな配送方法の可能性を検討することを目的に、ソフトバンクの社員が「セブン-イレブンネットコンビニ」で注文した商品を、「RICE」で東京ポートシティ竹芝オフィスタワー内のセブン-イレブン店舗から他のフロアを含めた指定の場所へ配送します。セブン-イレブン店舗のスタッフが「RICE」に商品を載せ、配送先を選択すると、「RICE」がエレベーターに乗って指定されたフロアへ移動します。指定された配送先に到着すると、注文者のスマートフォンに暗証番号が通知され、「RICE」に暗証番号を入力することで商品を取り出すことが可能です。

■配送可能な商品：約550点（当該店舗の取り扱い商品の一部を除いた商品数）

<商品の注文～配送～お受け取りまでのイメージ>



<各社の役割>

■セブン - イレブン

- ・「セブン - イレブンネットコンビニ」の提供
- ・「RICE」への商品積載など、店舗におけるオペレーション

■アスラテック

- ・「RICE」の提供
- ・技術支援

■ソフトバンク

- ・社員による配送サービスの利用および検証

■三菱電機

- ・エレベーターを活用したロボットのフロア間移動を実現する IoT プラットフォーム「Ville-feuille™（ヴィルフィーユ）」の提供

■東急不動産

- ・実証実験場所の提供

以上